

動物実験等の実施状況

(26 年度)

研究所名	動物衛生研究所
------	---------

1. 動物実験等の実施件数等						実施件数合計 129件		
小哺乳類			大中哺乳類			鳥類		
動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数	動物種	件数	飼養数
マウス	25	9629	ウシ	31	84	ニワトリ	28	1322
ラット	1	1	ブタ	27	237	ウズラ	0	0
ハムスター	1	22	ヤギ	2	2	カラス	0	0
モルモット	1	193	ヒツジ	3	5	アヒル	1	12
ウサギ	7	33	イヌ	0	0			
			ネコ	0	0	爬虫類		
			サル	0	0	動物種	件数	飼養数
			イノシシ	0	0			
			タヌキ	0	0			
			ウマ	2	2			

2. 動物実験の主な内容

- ・牛疫生ワクチンの製造にかかる品質管理試験
- ・生物学的製剤「ヨーニン」の製造にかかる力価試験
- ・PRRSウイルス混合感染試験
- ・A型インフルエンザウイルスに対する鶏免疫血清の作製
- ・肥育豚における豚流行性下痢(PED)ウイルスの排泄動態に関する研究
- ・妊娠豚およびその産子における豚流行性下痢(PED)ウイルスの排泄動態に関する研究
- ・豚丹毒菌における新規抗原に対する抗体の作製
- ・下水処理環境に残留する化学物質の*in vitro*毒性評価
- ・鶏の系統別による高病原性インフルエンザウイルスの対する感受性試験
- ・ピートウイルスの牛胎子への感染実験
- ・牛の腔内電気伝導度測定
- ・フザリウム属かび毒の家禽に対する毒性発現の病理学的検討
- ・ひな白痢急速診断用菌液の品質管理試験
- ・新規ワクチンの効果試験に用いる牛ウイルス性下痢ウイルス株の病原性の評価
- ・口蹄疫ウイルスO/JPN/2010株の異種動物間における水平伝播状況の解析
- ・マダニの継代
- ・豚に対するリポソームのアジュバント効果確認試験
- ・豚初代培養肝細胞を用いた機能性肝由来不死化細胞の樹立
- ・ウシの毒性評価に適した簡易人工ルーメン培養法の確立のためのルーメン液採取
- ・分離トリパラミクソウイルス1型の病原性検討
- ・高病原性鳥インフルエンザ不活化点眼ワクチンへのザイモサン及び点眼添加剤の添加効果試験等

備考

- 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
- 2 「1. 動物実験等の実施件数等」の欄は、報告する年度における動物実験等の実施件数の総数、動物種(上記に表示のない動物種による動物実験等を実施している場合は、当該動物種名を新たに記載すること。)ごとの件数及び飼養数について記載
- 3 「2. 動物実験の主な内容」の欄は、報告する年度において実施した主要な動物実験の目的や実験方法等の内容について簡潔に記載すること。

動物実験等に関する自己点検及び評価報告書
(26年度)

研究所名 動物衛生研究所

1 所内要領

- a 規程に適合した所内要領が定められている。
- b 所内要領は定められているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

2 動物実験委員会

- a 規程に適合した動物実験委員会が設置されている。
- b 動物実験委員会は設置されているが、改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

3 動物実験管理者

- a 規程に適合した動物実験管理者が置かれている。
- b 動物実験管理者は置かれているが、一部に改善すべき点がある。

①改善を要する点
②改善の方針、時期等

4 施設等の指定

- a 施設等は、動物実験委員会で審査され、規程に適合したものが適切に指定され、指定施設等においてのみ飼養管理及び動物実験が行われている。
- b 施設等の指定に関して問題がある。

①問題点 動物実験委員会から解剖・焼却棟を動物実験室に指定するべきとの指摘があった。
②改善の方針、時期等 指定するための作業を行う。

5 施設等の維持管理

- a 施設等は適切に維持管理されている。
- b 施設等の維持管理に問題がある。

①問題点

②改善の方針、時期等

6 動物実験計画の審査及び実施

- a 動物実験計画は、規程に従って適切に審査、実施されている。
- b 動物実験計画の審査、実施に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

7 動物実験の実施結果報告

- a 動物実験の実施結果は適切に研究所等の長へ報告され、取りまとめた実施状況は理事長へ報告されている。
- b 動物実験の実施結果の報告に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

8 実験動物の健康及び安全の保持

- a 飼養保管や輸送において、規程に定められた実験動物の健康・安全の保持の措置が適切に行われている。
- b 飼養保管や輸送において、実験動物の健康・安全の保持に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

9 生活環境の保全

- a 規程に従い、施設等及びその周辺の生活環境の保全に努めている。
- b 施設等及びその周辺の生活環境の保全に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

10 人への危害・環境保全上の問題の防止

- a 規程に従い、人への危害や環境保全上の問題が適切に防止されている。
- b 人への危害や環境保全上の問題の防止に関し問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

11 安全管理に注意を要する動物実験(遺伝子組換え動物、感染症等に係る実験等)

- a 安全管理に注意を要する動物実験について、規程及び関連法令に適合した実施体制が確保され、安全に実験が行われている。
- b 安全管理に注意を要する動物実験について問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 安全管理に特に注意を要する動物実験は実施していない。

12 地震、火事等の緊急時の対応

- a 緊急事態に備えた措置に関する計画が定められ、緊急時の対応に問題はない。
- b 緊急事態に対する備え、対応に関して問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

13 教育訓練

- a 規程に沿って、教育訓練が実施されている。
- b 教育訓練は実施されているが、問題がある。

①問題点
②改善の方針、時期等

- 必要な教育訓練が実施されていない。

○実施の方針、予定等

- d 当該年度には、教育訓練が必要な者はいなかったため、実施せず。

- 備考 1 ○○の箇所には和暦を記載すること。
2 該当する評価結果の□に✓印を記入すること。
3 評価結果が「b」又は「c」に該当した場合は、当該評価結果の下の欄に表示している事柄について、当該欄にその内容を記載すること。